

流通・繊維



㊤家電量販店もLED照明の販売に力を入れる  
㊦コンビニでは、店舗内外の照明を急ピッチでLED化している



**手配進まず**  
「産業界が積極的にLED照明に切り替えてい

るため、導入スケジュールがなかなか思うようにいかない」と苦笑するのは大手スーパーの幹部。策ではLED化に取り組

小売業照明LED化急ぐ

小売業界では昨年来、取り組んでいる店舗照明の発光ダイオード（LED）化に引き続き取り組む。さらに大手スーパーなどは昇降機の周引き運転、さらに店内空調や冷蔵ケースの温度調整などさまざまな対策を進めている。また、一部大手飲料メーカーでは今夏に向けた節電対策ではないが、自動販売機をネットワークで結び在庫量を把握し、不要な在庫の削減に取り組み、それを生産計画にもつなげるという取り組みに着手した。

自販機在庫管理で工夫

LED化に着手したセブンイレブン・ジャパンは全1万3000の店舗のうち、今年2月末までに9000店で切り替え

導入していく。この自動販売機をネットワークでつないで自販機内部の在庫量をリアルタイムで管理し、営業拠点、配送車両の削減、さらに生産計画にも反映させる大きな計画だ。

また、自販機内部の在庫量を管理するため、営業拠点を必要とする在庫を持つ140ある営業拠点を3分の1程度削減できる。また、配送車両も大量の在庫を持つ巡回する必要がなくなり、小型化と総数の見直しで実現できる。今後さらに節電を進めるには、小売業、卸売業、メーカーという根拠を取り払った対策が必要になりそうだ。

高機能素材に熱視線

繊維

昨年引き続き、節電が求められる2012年の夏。会社や公共施設だけでなく日常生活でも節電への意識が高まるなか、日本の繊維メーカーが得意とする涼しく快適に過ごせる高機能素材への注目が高まっている。これまでスポーツ選手のユニフォームに使用されていた高機能素材を、一般の衣料用途にも展開するなど、繊維メーカーはクールビスに対応した商品開発を強化している。

**スポーツ仕様**  
東レはクールビスファッション向け衣料品企画「クールアベニュー」を展開する。アパレル会社のレナウン、フレックスジャパン、山崎、エミネ

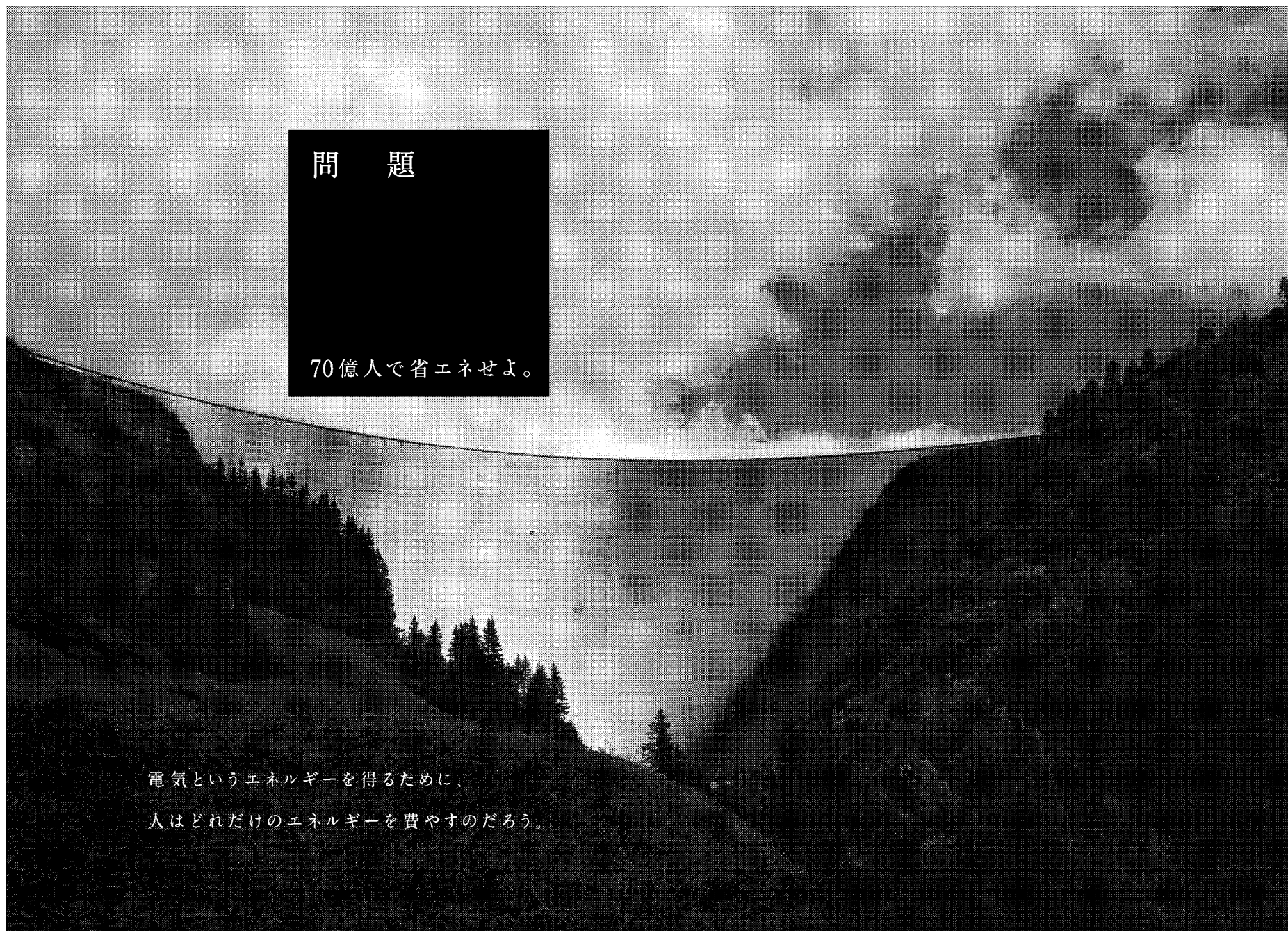


と接する面が少ない「3D」タイプの2種類がある。汗臭さ抑える。帝人ファイバーも夏の節電対応に役立つ繊維素材や製品を拡販し、夏向け素材を「エネセーブ」ブランドとして展開する。夏服は通気性を高め、衣服内の温度を下げて、冬服は保温性に優れた素材を使用。制電性能や耐熱性など製造現場ごとに求められる機能も付与していく。

に伴う細菌の発生を防ぐ。スポーツ向け衣料向けととも12年から市場に本格投入した。水に浸して首に巻くと気化熱効果で涼感を得られるネットクラーは、11年度は10年度比で8倍以上も売れた。さらに12年度は、11年度比で2倍以上の売り上げを見込む。

また、着用時の快適性を追求して節電対応すると共に、リサイクル可能な企業のユニフォーム向け素材を「エネセーブ」

技術の頂点へ再び



問題

70億人で省エネせよ。

電気というエネルギーを得るために、人はどれだけのエネルギーを費やすのだろうか。

あなたは使うだけでいい。  
旭化成のホール素子が世界中のモーターを制御し、エネルギーロスをなくしてゆきます。

いま省エネルギーを考える時、センサーの果たす役割は極めて大きい。私たちの家庭では、あらゆる家電にモーターが使われているが、（CDやDVDはその一例だ）センサーの力で、そのモーターの回転位置や速度を正確に把握することができる。すると、いわば回し過ぎることなく、必要最低限の電気ですべてを動かせるようになる。ホール素子というセンサーの出現で、モーターのエネルギー効率は飛躍的に進化した。旭化成は、世界中で使われるホール素子の約70%、年間12億個以上を生産している。あなたがケータイを閉じた時、自動で画面が消えるのもホール素子の力である。誰もが使うものが進化すれば、誰もが省エネに参加できる。電気をつくる技術はもちろんだが、電気を無駄なく使う技術も、いま、求められている。昨日まで世界になかったもの「ホール素子」。詳しくはwww.asahi-kasei.co.jp

昨日まで世界になかったものを。